書入注の整理 九条本『文選』巻十六 (上)

凡例

び書入注の翻刻整理稿である。(巻頭目録から「江文通雜體詩・張黃門苦雨」まで)に対する本文及(巻頭目録から「江文通雜體詩・張黃門苦雨」まで)に対する本文及本稿は、九条本『文選』巻第十六(李善注本巻三十一)「雑擬下」

及び判読不能の箇所は、口符号で示す。照した。翻字は、原則的に正字体を使用する。また、虫損、焼失、選』を底本とし、合わせて九州大学中国文学研究室蔵写真本を参一、本稿は、広島大学中国文学語学研究室所蔵の写真版九条本『文

どは、原則として省略する。として該当する本字に直す。原本に見えるヲコト点、仮名訓読なを文頭に附す。なお、注釈にみえる「-」などの省略符号は、原則を文頭に附す。なお、注釈にみえる「-」などの省略符号は、原則 (欄下)(紙背) (欄下)ない。原巻にみえる行間注、欄外注、紙背注は、該当本文末の【 】

の()中の文字も、筆者による補記である。 これ、文中、本文及び注釈の標点は、筆者によるものである。また、文中

文選巻第十六

梁昭明太子撰

首

劝古詩一首五言如古詩一首五言
如古詩一首五言
如古詩一首五言

劉休玄擬古詩二首五言

陳

翀

首五言

騒上 屈平離騒經一首

九歌四首

雜擬下

直如弦【分、 五侯競書幣、 徒傾國屬【藉、 之要會】。荆魏多壯士、宛洛富少年【荆魏、 朱反、又氣俱反。湊、 居連反、叶】。秦地天下樞、八方湊才賢【天下、 劒騎何翩翩、 陰西【池陽、縣名。汾、扶雲反。汾陰、 意氣深自負、 (欄眉) 良曰、古人相問、 **肯事郡邑權**【負、恃也。權、 群公亟爲言【五侯、 長安五陵間【翩翩、 扶問反、 善作籍。 分義也。 聚也、會也。 籍籍、 誼盛貌。 弦、五臣作絃】。交歡池陽下、 必書及幣以送之】。義分明於霜、 疾貌、 王氏一門五侯。 (欄眉) 縣名。 輕健貌。 鄽、 勢權也」。藉藉關外來、車 二國名。 向曰、 直連反、 西、乙(陳案、「音」之略 多也。 幣、 五陵、 言秦地乃八方賢才 宛洛、二都名。]。 婢袂反。爲、 市物邸舍也】。 樞、 漢帝陵。 要也、尺 留宴汾 于

之心、 海懸 信也。 成也。 影節去函谷、 之辭也、應也。 以下同、 向曰、 俠烈良有聞、 懸於四海使人明知』。 函 言但行我身意、得成已志、 歎也。 不再注出) 先、 何孝 六緘。 投珮出甘泉飄【影、 反, 投珮、 務、 古來共知然 六 (陳案、 趣也。 向日、 去官也。 <u></u> 一 但營身意遂、 遠圖、 「音」之略字、 匹照反、 朝許人諾、 (陳案、 甘泉、 遠志也。 豈見目 當爲「校」之誤鈔)、 以下同、 宮名]。嗟此務遠圖、 辟也、 豈校耳目前 何能坐相捐 (欄眉) (陳案、 死也、 不再注出) 今本作 良曰、 遂、 與標字同。 一諾、 縁、 見也。 「 目 し 言趣忠義 從意也、 心爲四 棄也】。 相 前榮 然許 飾 (欄

効古 空度壯盛之年。 離本根 徒爲空。 煖也】。 各千里 下、極望見雲中【結、 李廣也 醉此倦遊士、 郡名」。昔隷李將軍、 首 夕寐北河陰、 良曰、 縱橫起嚴風 迺知古時人、 飄颻隨長風。 五言 本家自遼東 李廣利也。 古人悲轉蓬飄流、 【翰曰、 夢還甘泉宮【陰、 【嚴風、 交也、 類此客遊子、 所以悲轉蓬 【(欄眉) 十載事西戎【隷 【醉、(一) 象古人征行辛苦之意】 西戎、 寒風也」。寒燠豈如節、 聚也。髙闕、 匈奴也、 我今乃知之也】。 捐軀遠從戎。 作訊、 水南曰陰】。 良曰、 山名。 又息醉 善曰、 力計反、 濟曰、 雲中、 大宛國】。 袁陽源 曹植雜詩曰、 勤役未云已、 .霜雨多異同 (反)、 附也。 言勞役不已、 郡名。 猶問也。 結車高闕 李將軍、 |燠、 四面 潦

擬古二 五言 (休玄【善曰) 沈約宋書日

螿翔 所而人不歸。 心不安貌】。 眇眇陵長道、 擬行行重行行 水曲、 (紙背) 秋兎依山基 廻車背京里、 鈔曰、 遙遙行遠之 濟曰、 堂上流塵生 E 郭璞注云方言曰 寒螿、 此篇叙國 **塩**、 【眇眇、 揮手從此辭 水鳥也。 庭中綠草滋 亡小反、 (陳案、 濟日寒螿 寒螿、 言寒螿依水、 今本 【京里、 遠也。 流、 蜩也。 或 水鳥也。 都里也。 遊也。 陵、 作 何承天纂云、 秋兎依山 「閨」) 鈔曰陟也。 滋、 皆得其所而人 人思遠之意 茂也】。 皆得其 寒螿、 遙遙、 寒

> 増感歟 桑榆時 向日、 善日、 古樂府江南辭曰、 憂委子衿詩 時衰暮』。 背)良曰、芳年、 **芳年有華月、佳人無還期【**芳年、 孤翟 暮謂微光也。 緇 海 江南調、 曹植七哀詩曰、 【薄暮、 (陳案、 暗也】。 六足四翼、 日夕涼風起、 【江南調、 桑榆時、 今本向注脱 采蓮曲也。 微光也。 淚容不可餝 華月、 江南可採蓮。毛詩曰、 或青或朱、 采蓮曲也。 喩老也。 膏沐誰爲容、 對酒長相思【涼風、 「采蓮曲也」 喻盛時。 日在桑榆、 江南調、 (陳案、 言願垂微光、 皆好依水、 子衿詩、 佳人、謂夫也。 華月、 今本作 後十九字)】。 古樂曲也。 以喻人之將老。 明鏡閽不治】。 青青子衿、 喻盛時也。 飾」)、 歎無音信也。 盛時衰暮也】。 其義當此、 照妾老年】。 卧覺明燈晦、 此調多悲哀、 幽鏡難復治。 涼風起、 悠悠我心。 (紙背) 願垂薄暮景、 佳人、 不得必蜩也】。 (欄眉) 悲發江南調 謂漸及秋感 夫也。(紙 坐見輕紈 今做之而 濟 【(欄眉) (紙背) Ę 善曰、 照妾 薄

擬明月 今本 何皎皎 或 良日 作「閨」)感月而歎 此篇爲遠人 (陳 案、 今本此處有 未 字 還 中 或

善作爲。 憂懷明發 曽、重也。曽闕、 落宿半遙城、 (陳案、 層 闕 今本 「室」作 「屋」) 宿、 伊人、 力主反】。 浮雲蕩 乙秀。 夫也。 高闕】。 宿、 (陳案、今本 河廣川無梁、 沉 也。 玉宇來清風、 向曰宿謂星也。 深也】。 帳、 「蕩」 帷也。 山高路難越 誰謂客行人、 作 羅帳延秋月【玉宇、 「藹」) 延、引也】。 浮雲、 曽 薄雲也。 (陳案、 屢見流芳歇 結思想伊 今本 蕩、 以玉飾室 盖也 曽 沉 作

神也】。 帝安陵 少年好馳俠、 和琅邪王依古一首 隆周爲藪澤、 顯机莫殊轍、 云壽陵等也】。 安識壽陵園 旅宦遊關源。 皇漢成山樊 依、 抱命復何怨 【壽陵園、 幽塗豈異魂 仲秋邊風起 摺本作亦】 既踐終古跡、 景帝作壽陵園。 朝 四走反。 孤蓬卷霜 五言 道也、 聊 王僧達 法也。 根。 (紙背) 藩也、 白日無精景 一醉、 幽塗、 高祖長陵、 林也】。

久沒 善作

聖賢良已矣、

幽則有鬼

無金 畫也。 擬古三 乙胡。 羿之善射、 精盡於此弓矣。 朝遊鴈門上、 飛鞚越平陸 象弧插雕服 幽并重騎射、 人爲弓、 (欄眉) 矢踰西霜之山、 象弧、 射其左目。羿引弓射之、誤中右目。 首 (欄眉) 留我一白羽、將以分虎竹【白羽、矢名也。 善曰、 帝羿有窮氏、 九年乃成。 至今稱之』。漢虜方未和、 五言【良曰、 今本「金」 【飛鞚、 暮還樓煩宿。 少年好馳逐 象牙飾弓也。 善曰、 獻弓而歸、 漢官儀曰、 以氈爲帽頭。 公曰、 集於彭城之東、 翰曰、 作 與吳賀北遊 魏志曰、 此篇刺有德不仕、 「全」)目【(紙背) 【幽并、 三日而死。 郡國銅虎符三、竹使符五也】。 何其遲也。 石梁有餘勁、 插、 飛鞚走馬也。越、 董卓有武力、 楚洽 (反)、帯也。 佩、 二州名。 使羿射雀。 其餘力逸勁、 邊城屢翻覆 帶也。 景公登虎圍之臺、 工人對曰、 **驚爵**(陳案、 善曰、 羿抑首而媿、 安於幽棲 雙帶兩鞬】。 鞬、 度也。 羿曰、 時夜反】。氈帶佩雙鍵 居言反、 虎、 臣不復見君矣、 猶飲羽於石梁 闞子曰、 【虜、 服、 、今本 平陸、 生之乎、 五臣作 乙魯。 終身不忘。 鮑明遠 盛箭器。 援弓東面而射 獸肥春草短 盛弓者。 「爵」作「雀」) 宋景公使工 平道也】。 臣之 弧 故 芳

政反。 可量也】。既荷主人恩、又蒙令尹顧 皆恃其勢而生光榮】。 宗黨謂韋孟本出於漢、 以道得此富貴、 稱相也】。 丹素、中衣。 魯客事楚王、 反。 設置守毚兎【伐木詩、 **毚**兎、 (欄眉) 迷方獨淪誤 日晏罷朝歸 狡兎也、 (欄下) 善曰、揚子法言、 懷金襲丹素【魯客、 善曰、 乙余、 何所懼也】。 【儒生、 臣瓉漢書註曰、 富貴人所欲、 同姓、 (善作) 喩 興馬寒(陳案、 (陳案、今本此處有「懷」字)德待祿也。 謂燕朋友故舊也。 自謂也。 宗黨生光華、 今得貴位、 鞍。 魯人假言也。 衢、 道得亦何懼 荷、 諸侯之卿、 今本「寒」 求于反。 或曰、 故元暉也。 沉也。 賓僕遠傾慕 負也。 湄 使我紆朱懷金、 作 [塞]) 道、 岸也。 (欄眉) 誤 惟楚稱令尹 主人、君也。 濟曰、 即也。 謬也】。 善作德』。 【(紙背) 罝 濟曰、 衢路 、宗族、 襲、 朝、 昭言我 其餘國 鈔曰、 令、 其樂不 (紙背) 南國有 乙習。 直 力

伐模(陳案、當爲「檀」之誤)之篇也。言懷德祿、猶宜守待兔也】。

事也。 背) 子多方、 三端、 歩也。 多士、 衣也。 上也]。 相、 施其書五車、 願爲文、力已不及、 古人風。 「袠」)奉盧弓【佩、 「端」)。 善曰、 莊子不許。 **盧弓、征伐弓也**]。始願力不及、安知今所終 秦宮、 舌 飛歩遊秦宮 乗、守也。 晩節從世務、 其書五車。 兩説窮舌端、 (陳案、 晚節、末年也】。 韓詩外傳曰、 道星 兩 篇翰靡不通 史記、 今本此處有 (陳案、今本「兩」 障、 (陳案、 【弱冠、 今爲武士、未知其終竟】。 文服也。 言其傅聞、 乗障遠和戎 邊也】。 田單屠聊城 五車摧筆鋒 楚襄王遣使者持金千斤白璧百雙、 當爲 諷 羞當白璧貺、 年二十也。 「端」字) 犀、 解佩襲犀渠 「踳」字之省筆) 舌端能摧折文士之筆鋒 作 背文曰諷 乙西。 【晚節、 【兩説、 [西]) 歸而言魯連欲爵之、 一也。 士 犀渠、 耻受聊城功 末年也。 都之宮」。 朝臣也、 謂本末之説。 (欄眉) 翰、 卷帙 駮也。 甲也。 乙汗、 世 (陳案、今本 「帙 ((欄眉) (紙背) 善曰、燕子曰、 側覩君子論、 朝士也。 、貺、 帙、 五臣作時 (陳案、 筆也」。 舌端、 魯連逃隱於海 馳栗反 聘莊子以爲 (善日) 賜也。 濟曰、 弱冠 君子有 預見 (紙 惠 始 髙

所連反、 胡風吹朔雪、 貞素之士 直之人爲佞者所亂、 兩楹、 豈鮮曜於陽 桃李節、 雪之性。 兩楹之間、 【桃李、 千里度龍 喩亂代。 集君瑤臺裏、 春之節】。 不成其美也 比忠直 人君聽政之處】。 Щ 余瞻 【風雪比佞人也 乃桃李之節 也。 銑臼、 飛舞兩楹前 爲佞者所亂、 反, 陸云、 桃李比忠直也。 春也、 艷陽以興諂媚之人、皎潔以 茲辰自爲美、 非雪之妍花也。 瑤、 朔、 喻明君也】。 不成其美也。 乙遙。 北也。 言未遇至明 當避豔陽年 瑤臺、 豔陽桃李節 龍 (紙背) 以玉飾臺 Щ 階

道也。 謂西 傾山 穴蟲也。 齊國、 西出 莊子、 子曰、 之淚。 之則 蓬壶、 動皆之死地、 於守廟者曰、 身意會盈歇 陳鐘陪夕讌、 歩没反。溟渤、二海名】。選色遍齊代、 代君子有所思 (欄眉) (陳案、今本此處有「惡」字) 虚則攲、 (紙背) 善曰、家語曰、 登雀臺、 層閣肅天居、 (陳案、「則」、當爲「敗」之誤鈔)、 (陳案、「西」、當爲「因」之誤鈔) 穴漏水。 多美女也。 穿池類溟渤 昭、 五臣作以。 今日吾昧然、 冉求問於仲尼曰、 言積微至著】。器惡含滿敬、 試注水實之。 言讒邪之人、但下如絲之淚、 善日、 河 智哉衆多士、 且又爲不神者求耶。 明也。 十有三。 中則正、 此爲何器。對曰、 五臣作阿。 笙歌待明發 東下望雲闕 一首 傅玄曰、 邛越、 容也。 築、 昧、 馳道直如髪 敢問何謂也。 中而正、 五言 暗也、 棟也。 滿則覆、 何 服理辯昭昧 乙 竹。 中 銘曰、 絲涙、 未有天地可知乎。 歇、 (陳案、 有滿而不覆者哉。老子曰、 陪 【雀臺、 孔子觀於魯桓公之廟、 (陳案、今本「中」作「二」) 國名、其人善歌】。 輸日、 乙末、 許褐反】。蟻壤漏山河、 琁、 滿則覆。 壺、 此盖爲宥坐之器。 勿謂不然、 淚之微者。 層、 郭象曰、 明君以爲至誠、 歩廻反。 今本「何」前有「夫」字) 仲尼曰、 乙旋、 乙胡。 叶 鄴西有銅雀臺。望雲闕、 物忌厚生沒【器、 此言防漸忌滿之戒】 多士、 在蟻穴之漏。 而金骨爲之傷毁也。 乙曽」。繡甍結飛霞、 夫子喟然而歎曰、 **徴聲币邛越**【色、 思求更致不了】。 讌、 玉也。題、 又云没、 蓬壺、二山名、 變出無聞。 金骨、 昔之照然也、 夫子曰、 謂群臣也。 阿阿 一見反】。年貌不可還、 故常置於坐側。 孔子曰、吾聞宥坐之 金骨之銷、亦在如絲 金骨之喻親之篤者 叶。 古猶今也。 有攲器焉。孔子問 猶大隄也。 椽頭也】。 絲淚毀金骨 攲器也。 蟻孔潰河、 人之生生之厚、 (紙背) 服、 故。 神者先受之。 (紙背) 美女也。 嗚呼、 仙山也。 鮑明遠 **琁**題納行月 習也。 闕髙 以其生生 忌、恐 言大隄 善日、 築山擬 昔日吾 顧謂弟 漏、 夫物 溜穴 至雲 蟻 理 齊 渤

寒沙四面平、飛雪千里驚。風斷陰山樹、霧失交河城【斷、折也。失、効古一首 五言 【銑曰、此言從征之義】 范彦龍【彦、魚變反】

迷也。 休明 進。上以虎牙不至期、 牙將軍田順出五原 去道 廣失道狀、 失道刑既重、 昔事前軍幕、 河水分流繞城下、故號交河】。 善作馳。左賢、 善日、 李廣爲軍幕。 (陳案、 頼 交河、 蒙也】。 廣曰、 漢書曰、 今本無「去道」二字、 邊城名。 今逐漂 逗留法未輕 休屠、 漂、 校尉無罪、 (陳案、 李廣與右將軍食其合軍出東道、 (陳案、今本「漂」 逗留不進、 匹遙反、 皆戎狄之王號。 (欄眉) 今本「原」作 湿、 乃我者自去 善日、 朝驅左賢陣、 乙遙。 疑爲衍字)、 乙豆, 下吏、 漢書曰、 摺本作 漂姚兵、 作 「嫖」) 源 薄、 自殺』。 (陳案、 引刀自剄。 字、 至也、迫也。屠、 夜薄休屠營 車師前國王治交河城 「遲」、 姚兵【幕、 今本「去」作 霍去病爲漂姚校尉】。 所賴今天子、 虜去塞八百餘里、 或失道。 或作 又曰、 [驅 乙莫。 「逗」。(紙 (失し) 宣帝命虎 大將軍問 乙除】。 漢道日 逐也、 道 不 軍

雜體詩三十首 五言并序 江文通

而已。 以爲亦各 既已罕同。 素。 則 寧共氣、而皆悦於魂。不其然歟。至於世之諸賢、 變無窮。宮商爲音、 夫楚謠漢風、 (陳案、今本「則」作 士季假論於嗣宗、此其效也。 仲宣之論、 豈所謂通方廣恕、 又貴遠賤近、人之常情。重耳輕目、 今作三十首詩、 庶亦無乖商推云爾 (陳案、今本 河外江南、 既非一骨。 家有曲直。安仁、士衡之評、 靡曼之態不極。 各」作 頗爲異法。 「
而」)
忌辛、 好遠兼愛者哉。及至 魏製晉造、 (陳案、 合_) 然五言之興、諒非夐古。 今本「效」作「斆」) 其文體、 故玄黃經緯之辨、 其美兼 好丹則(陳案、今本「則」作「而」)非 固亦二 故蛾眉詎同貌、 俗之恒蔽。 (陳案、 體。 人立矯抗。況復殊於此者 (陳案、今本無「至」字) 公 譬猶藍朱成彩、 今本「兼」 各滯所迷、莫不論甘 是以邯鄲託曲於李 金碧沈浮之殊、 而俱動於魄。 但關西鄴下、 作 雖不足品 並)

[**別離**【五臣作離別】

遠與君別者、乃至鴈門關【鴈門、郡名。關、山名、其上置關】。黃雲

樹枝 乙惠、 上爲黃雲】。送君如昨日、 蔽千里、 【鬼絲、 依水如浮萍。 【瓊樹、 香草也。 亦猶婦人之附於夫、 女蘿也。 遊子何時還 【行在天、善作在天一。崖、 玉樹也、 (欄下) 衰落也】。君行在天崖(陳案 歩銘反。 在崑崙山、 濟曰、 簷前露已團。 言此心終不移易】。 暗也。 (欄眉) 兎絲、 故難見」。兎絲及水萍、 (欄眉) 善曰、 言遠也】。願一見顏色、 不惜蕙草晚、 善曰、 草名、 感茯苓而生萍、 曹植雜詩曰、 崖 淮南子曰、 所悲道里寒【蕙 今本作「涯」)、 妾 所寄終不移 黄泉之埃 寄松爲女 不異瓊 草依水

李都尉 從軍【良曰、此擬攜手上河梁】 陵

魴得所薦 小書也。 罇酒送征人、 結髮不相見 握手淚如霰 翰曰、 悠、 踟蹰在親宴 先見反。 鷰春南飛、 【良曰、 五臣作友】。袖中有短書、 魴、 就暖巢於人家、 踟 乙房。得所薦、 多也。 直知 反。 霰、 故願以書寄之」。 細雨也」。悠悠清川 蹰、 謂得其所處】。 願寄雙飛鷹 直株 反]。 而我在萬 (短書

|婕妤||詠扇【良曰、此擬新製齊紈素】

風至、 遂以妻焉。 列仙傳曰、 班婕妤怨詩曰、 **紈扇如團月、** 一作秦王女、 吹我玉階樹 |恐_) 棄捐篋笥中、 旦 蕭史者、 出自機中素【紈、 乗鸞向烟霧【鸞、 秋節至、 新製齊紈素、 皆隨鳳皇飛去』。彩色世所重、 【涼風至、 秦穆公時人、善吹簫。 涼風奪炎熱』。 恩情中道絶】。 謂秋也。 鮮潔如霜雪。 綺類也。 亦鳳也。 君子恩未畢、 (欄眉) 專 烟、一全反。 穆公有女子弄玉、 裁爲合歡扇 (二作) 又曰、 雖新不代故。 圓 零落在中路 (紙背) 團圓似明月]。 (欄眉) (陳案、 竊愁涼 善曰、 【(欄 今本

魏文帝 遊宴【濟曰、此擬芙蓉池作】 曹丕

行曰、朝遊髙臺側、夕宴華池陰】。神飈自遠至、左右芙蓉披【飈、風置酒坐飛閣、逍遙臨華池【飛閣、髙閣也。(欄眉)善曰、魏文帝東門

也 楚來、 雀聲愁北林 小儒安足爲 眉 善日、 淵魚猶伏涌、 綠竹夾清水、 冠佩 爲我吹參差 曹植公口 【髙文、 【肅肅、 (陳案、 今本「佩」作 聽者未云疲【涌、 秋蘭被幽崖 【南楚、 靜也】。衆賓還城邑、 綺靡通逹之才。 詩曰、清夜遊西園、 託遠也。 珮」) 【幽崖、 小儒、 相追隨【冠佩、 以重反、 參、楚吟。 深岸也。 何以慰吾心。 謂大夫士也】。 善作浦】。 飛盖相追隨】。客從南 崖、 差、 楚亙。 善作涯】。 近臣服飾也。 髙文一何綺、 肅肅廣殿陰 參差、 月出 (欄 照

陳思王 贈友【翰曰、擬贈丁儀王粲等詩】 曹增

第宅 惜也。 處富不忘貧、 樹而去。 清池。 雙。 石 延陵聘上國、 反、善丹也。 香草也】。眷我二三子、辭義麗金艧【三三子、 裳摘明珠、 搖也。碧樹、 侯之宅也】。從容冰井臺、 君王禮英賢、 闕 華、 莊子曰、 (紙背) 今本無 (欄下) 善曰、 門也。 花也。 **徙倚拾蕙若【**褰、舉也。摘、 金艧、雕飾也」。 芳樹也。 有道在葵藿【翰曰、 過徐君、 不恡千金璧【君王 善曰、 林回棄千金之璧 兩 薄、 馳道、 史記曰 字、 先秋、 草木叢生曰薄】。 心許徐君所佩劍。 漢書曰、 大道也。 清池映華薄 又、「石」當爲 初秋也】。 延陵輕寶劍、季布重然諾【(欄眉) 虞卿説趙孝成王、 季布、 謂曹公也。 朱宫、 有道之士非不在葵藿、 負赤子而趍』。 【冰井臺、 涼風盪芳氣、碧樹先秋落 「不」之誤鈔) 楚人也。 取也。 朝與佳人期、 朱樓也 使還、 英賢、 丁儀王粲等。艧、 徐君已死、 徙倚、 楚諺曰、 臺名。 雙闕指馳道 一見賜金百鎰 謂丁儀王 如得季布 列也。 移行貌。 日夕望青閣。 清池、 言以此爲戒】 得黃金百兩 乃挂劍於墓 臺下有 朱宮羅 烏郭

日橋、 託身文墨職 霜露 蒼蒼山· 小曰柚、 何緊、 日中桂、 一談 **團團霜露色** 桂枝生自植 皆果名。 感 誤也。 思也。 聖主、 君、 緊緊、 【蒼蒼 濟曰、 曹植也。 急也】。 謂魏文帝。 思其有幸遭遇 因植爲己聲譽】。 橘柚在南國、 專 託身、 善作圓。 猶言恩也」。丹彩既 專專 謬蒙聖主私、 君爲羽翼【大

厚也。 古翫反。 崤函 千載垂令名 之有筠、 漢書、李陵謂蘇武曰、 露竟幾何、 之服飾也』。侍宴出河曲、 貂服玄纓 幸遭天下平【三、 眉 山 函復丘墟、 傷時敝於行旅也。 董卓作亂】。 伊昔值世亂、 河清 善日、 崤谷函谷也 鸛鷁、 如松栢之有心、 【賢主、魏太祖也。 悲秋之蟲。 恩也。 賈逵國語注曰、 冀闕緬縱橫 忽如水上萍 ((欄眉) 既傷蔓草別、 與擢 秣馬辭帝京 【銑曰謂懷魏武帝之德】 水鳥名。 五臣作二。 (欄眉) 同 翰曰、 若、 古何(反)。(紙背)禮記曰、 人生如朝露】。君子篤惠義、 【崤、 忽、 幽草、 二者雖貫四時、 也。 飛盖遊鄴城【飛盖、 壬善反。 善日、 【辭帝京、 若木晩矣】。 一本作苦、 方知杕杜情 言能履福自安、 下交反、 金貂、粲爲侍中、故云金貂。 涇渭、二水名]。蟋蟀依桑野 疾貌。水萍、喻無依託。(欄眉)善曰、 載、年也。遭、逢也」。賢主降嘉賞 深草也。 毛詩序曰、 縱横、 謂避亂荆州也 五臣作枯。 粲【銑曰、 山名。 杖、 客子、 鸛鷁在幽草、客子淚已零 而不改柯易葉】。福履既所綏、 謂亂也】。倚棹泛涇渭 故得後世垂令名】。 野有蔓草、 天帝反。 函 車盖也。鄴、 謂粲也]。去郷三十載、 若莖、 懷德謂懷魏武帝之德 乙咸反、 其在人也、 柯葉終不傾 (欄眉) 喻危脆也。 思遇時也』。 玄纓、 函谷關也。 乙葉』。朝 嚴風吹若 翰曰 詩篇名、 如竹箭 日暮 金 (欄 謂

嵇中散 日余 (陳案、今本此下有「周易曰、 不師訓、 其名爲鳳 世 【濟曰、 潛志去世 居積石千里、 生樹、 歩超常倫 言本有髙尚之志、 塵 名瓊枝 (紙背) 鴻漸於陸、其羽可用爲儀」十三字)。 世 河海出下、 善日、 髙百二十仭、 五臣作俗】。 輩 也。 莊子、 而横遭讒言】 鳳皇居上、 遠想出 鳳振羽儀、 老子歎曰 大三十圍 天力 宏城 戢 吾聞 以琳琅爲實 阮籍詩曰、 景 5.西海濵 、「力 方有 今本

則無累。 張問行子曰、 本此下有 鐘鼓之音』。 魯侯觴之於廟、 樂曰咸池。爰居、 乎】。 咸池響 夫虛靜恬淡、 氏守其眞 四方上下曰字】。哲人貴識義、 以道徳自養。 有形、 堯曰、 本此下有「此古之所謂懸解也」八字)。 子曰、 朝食琅玕實、 天得一以清、 也】。天下皆得一、名實久相賓【(紙背)善曰、 璞。河上公曰、 喻髙潔也】。處順故無累、 (陳案、 (欄眉) 先生竟無言乎。 許由曰、 不敢飲 人曰、 時也。 夫得者、 琅玕實、 多男子則多懼、 今本此下有「故辭」二字)。 善日、 又曰、 感贈以書紳 「嵇康憂憤詩曰、 (陳案、今本「眞」作 苝 杯、 柳惠善直道、 無形、 言忠信、 子未可以去乎。 地得一以寧、王侯得一以爲天下正。莊子曰、堯讓許由 寂寞無爲者、天地之平、 夕宿丹山際」。朝食琅玕實、 (陳案、今本「響」作「饗」)**爰居、鐘鼓或愁辛**【咸池、 而我猶代子、 道德至妙、 見素者、當抱素守眞、不文錦(陳案、今本「錦」 見隱者孫登、 奏九韶以爲樂、 堯觀乎華、 時也。失者、順也。 毛詩大雅曰、 瓊實也。 三日而死。 海鳥也。愁、 順也。 登乃日 行篤敬。子張書諸紳】。 昔慚柳下、 富則多事、 乃通神明】。 養德乃入神【累、 孫登庶知人【(紙背) (欄 眉) 向 曰 、 華封人、 乙申、 吾將爲名乎。名者、實之賓也。吾將爲賓 安時處順、 銑曰、 Ę 「貞」)【悟 子才多識寡 康欲與之言、 既明且哲、 大雅明庇身【哲、 具太牢以爲膳、 六秋。(紙背) 莊子曰、 周易曰、 今愧孫登 直道而事人、焉往而不三黜 又曰、 請祝聖人、使壽、 壽則多辱。 安時處順、 言榮祿信美、 曠哉宇宙惠、 而道德之至也。 憂樂不及、 明也。 食瓊樹之實 欲勉爲形者、 以保其身】。莊生悟無爲、 精義入神、 夕飲玉池津 十四字)。 難乎免於今之世也】。 力瑞反。 (欄眉) 是三者、 老子曰、昔之得一者 哀樂不能入也 善曰、 智也。 鳥眩視憂悲、 (紙背) 故曰無累。 而康視之、 雲羅更四陳 魏氏春秋日 以致用也。 使富、 老子曰 (紙背) 柳下惠爲士師、 莫如棄世、 飲玉池之水者、 善日、 大雅、 海鳥止於魯郊 非所以 論語曰、 乙郎。 使多男子。 善曰、 不敢食一 亦猶鳥聞 莊子曰、 (陳案、今 詩篇名。 見素拘 老 謂 今 莊 康 康 天

阮歩兵 籍

石 蒿下也。 良曰、 譽斯也。 化爲精衛、 之。其子明旦至海上、 上而從靑遊、 青鳥海上遊、 【朝雲、 發鳩之山有鳥名精衛、 其致一也。 誰能測幽微 海上、 流瀁、 常取西山木石以填東海也。 髙唐神也、 鳥 青至者前後數百 海上也】。 **鷽**斯蒿下飛【青鳥、 廣大貌、 (紙背) (陳案、 【濟 曰、 羣青翔而不下]。 乗雲變化、 善曰、 「鳥」當爲「蒿」之誤鈔) 飄颳可終年、 青鳥遊於廣大之處】。 言此幽微之事難知也。 赤帝之女娃。 呂氏春秋曰、 其父曰、聞汝從青遊、 爲其光色、 海鳥也。 沆瀁安是非【飄颳 濟曰、 沉浮不相宜、 女娃遊於東海、 鸒、 海上有人好青者 言此幽微之事難知也】。 當代所希有』。 朝雲乗變化、 乙預、 下、寛隘不同 (紙背) 羽翼各有歸【沉、 盍取來, 小鳥也 溺而死、 善曰、 輕飛貌、 精衛銜木 光耀世所 山海經 吾欲觀 適性逍 朝至海 不反、 (欄眉) 謂

消

信我皎日期 延頸佇立也。整、 紅彩、閨草含碧滋 乙廉。墀、 秋月映簾籠 言誓也 延頸佇立、 遺我 願垂恩惠、 玉臺生網絲【蘭逕、 乙遲、 (陳案、 ((欄眉) 一端綺。 整理綾綺、 **堦也**】。 佳人撫鳴琴、 理也。 今本「籠」 【紅彩、花也】。延佇整綾綺、 信我此心】。 相去萬餘里、故人心尚爾。 濟曰、 遠寄於夫。 湛露能潤澤於物、 作 思夫也。 夾逕蒔蘭也。 「櫳」)、 所思、 懸光入丹墀 (紙背) 清夜守空帷 網絲、 則夫也】。 善日、 又曰、 喻夫之恩惠 萬里贈所思 蜘蛛網也】。 映、 帷 古詩曰、 欲以遺所思。翰 願垂湛露惠、 幔也】。 善作照。 皎日、 【延佇、 客從遠 庭樹發 謂

岳

青春速 愴無終畢 俯仰未能弭、 天機、 松栢轉蕭瑟 【美人謂妻 素秋馳白日【天機、 尋念(陳案、今本「念」作「思」)非但一【弭、忘也) 【肅清、 岳妻人。 猶寂寞大也。 重泉、 **琁璣運時之急也**]。 深泉也 轉 彌也。 愴悽、 蕭瑟、 美人歸重泉、 悲傷也】。 殯宮

> 時平 同善注】。駕言出遠山、徘徊泣松銘【山、墳也。銘、 乃走、 數年、 善日、 兆、曾寤寐兮不夢。 王丁反。 忘憂。寄、 潘岳悼亡詩曰、 明月入綺窗、 朝朝暮暮、 王因幸之、 帝之季女、名曰瑤姬、未行而亡、封於巫山之臺、 何氣也。玉對曰、昔先王遊於髙唐、 案、「舒」、當爲「館」之誤鈔)有氣焉、 盖下有衣裾。 婦人相見 「館」之誤鈔)、名曰朝雲。濟曰、自歎無見死之術、婦無見夢之靈、餘 (陳案、 華落豈留英【雨絶、 ((欄眉) 其裾爲户所閉、 非但一、 聞而往見之、 列異傳曰、 今本 冥冥、昏暗也。 去乃言、 言語悲喜、 陽臺之下。旦以視之、 善作寧。 宋玉集云、 髣髴想蕙質 善曰、 非一塗也】。 「消」作「銷」) 歳寒無與同、 北海營陵有道人、 妾在巫山之陽、髙丘之阻、 冥冥、 Ę 寐、 潘岳悼亡詩曰 掣絶而去。 恩情如生。 華落、 楚襄王與宋玉遊於雲夢之野、 願令我一見死人、 王日反、 (欄眉) 幽昧也**]。我慙北海術、** 【蕙質、體質芬芳如蘭蕙也 撫衿悼寂寞、 憂非萱草、 朗月何朧朧。 喻死而不還也】。 善日、 果如其言。爲之立舒(陳案、「舒」、常 叶。 良久乃聞鼓聲、 後歳餘、 怠而畫寢、 須臾之間 能使人與死人相見。 四節代遷逝。 夢寐復冥冥、 永懷寄夢寐 潘岳哀永逝賦曰、 不恨。 怳然若有失 獨無李氏靈、 此人死、 夢見一婦人、 旦爲朝雲、 變化無窮。 聞王來遊、 又曰、 日月方代序、 恨恨不能出户、 遂教其見之、於是與 爾無帝女靈 家葬之、 碑也]。雨絶無還 何由覿爾形 一萱草、 望朝雲之舒 怳、 (欄眉) 善曰、 同郡人婦死已 髣髴覩爾容】。 寢興目存形』。 既目遇兮無 暮爲行雨、 王間、 自云、 願薦枕席 忤往反】。 開見婦棺 諼草 令 人 【(紙背 寢興何 此是 冥

陸平原

儲后降嘉命、 皮義反」。 善作馳 澨、 陳曹植所封國』。 乙逝、 恩紀被微身 明發眷桑梓、 泗 陸機贈顧彦先曰、 乙四。 水涯 儲、 服義追上烈(陳案、今本「烈」作 淮泗、 永歎懷密親 津、 乙除。 二水名。 渡口也】。 眷言懷桑梓】。 儲后、 歎、 (欄眉) 驅馬遵淮泗、 太子也、 息也。 良曰、 流念辭南遼 機爲太子洗馬也。 |列_)、 梁漢景帝弟 旦夕見梁陳

咸髦士、 厠宮臣 反。 無定名也】。 五臣作役。 太子門名。 毛、俊也】。契闊承華内、 善日、 易、 躑躅、 洛水也]。 長纓皆俊人【黻、 服 以智反。 楚辭曰、 拱木、 踰、 義、 不安貌』。 徂沒多拱木、 越也】。日暮聊總駕、 服古人道義也。 合手之木。宿草、 三鳥飛以自南。 願言寄三鳥、 可伐反、 綢繆踰歳年 六弗。 朱黻、 宿草 凌 上烈、 五臣作慨。躑、 離思非徒然 銑 曰、 三 鳥 者、 (陳案、今本「淩」作 陳根也」。遊子易感愾、 逍遙觀洛川 謂枚乗相如劉楨應瑒等】。朱黻 契、 長纓、 苦洗反、勤苦也。承華、 【徒然、 皆侍臣之服也。 直赤 【總駕、 楚辭本属當時所見、 (反)。 「陵」) 豈空然哉。 停車也。洛 寒煙【沒、 躅、 躑躅還自 髦、乙 直緑 (欄

左記室

貂冕 善曰、 中至太中大夫也】。 子也。恩、 當學衛霍將、 漢書曰、 休、一名恬休、 韓公淪賣藥、 百年信荏苒、 之省筆字)者、 (反)。河源、 乙祖、 許皇后、 賈誼爲博士、 王侯貴片議、 漢書曰、 金日石 懽 梅福 惠也】。終軍才始達、賈誼位方尊【逹、 綬也。 五臣作歡。 金張藉舊業、 史良娣之家並盛爲奢侈、 建功在河源【衛、 何用苦心魂【荏、而甚 梅生隱市門【(紙背) 變名姓、爲口市人卒(陳案、今本此句作「爲呉門市卒」)】。 (陳案、 西域匈奴之境也」。珪組賢君眄、青紫明主恩 一朝棄妻子去、其後、人見於>□(陳案、此處當爲 「會稽」 京兆人也。 終軍至長安、上書、 賢君、 文帝悦之、超遷、 公卿重一言 金張服貂冕、 當爲「磾」字省筆)、 濟曰、 天子也。眄、顧也。 常采名藥賣於長安市、 七葉珥漢貂。 衛青、霍、 謂供帳以送疎廣 議、 許史乗華軒 善日、 歳 武帝異其文、 (反)。 苒、 故云乗華軒。 (陳案、 又曰、 張安世、 作 霍去病、漢將也。將、 范曄後漢書曰、 青紫、 義 今本 乙冉。荏苒、少時也】。 朝集金張館 口不二價、 並累世仕漢、 拜爲謁者給事中。又 見任用也 疎受也]。顧念張仲 乙雕。 「歳」前有「一」字) 太平多懽娛 **綬色也**。 (欄眉) 韓康、 珪、 三十餘年。 明主、天 善曰、左 乙免。 故云貂 玉也。 子亮 字伯

> 錄注曰、 蓬蒿滿中園 張仲蔚、 所居蓬蒿、 【顧念、 扶風人也。 沒人]。 念其遺才也。 少與同郡魏景卿隱身不仕 蔚、 乙尉。 (紙背) 明天官博物、 趙歧三輔決

蔚、

張黃門 雨

詩曰、 華盛貌。 芳**蕤**成宿楚 猶漸也。 序 巢層甍、 屋棟木也。 涌】。 水鸛巢層甍、 丹霞蔽陽景、 交於心也。 索居慕儔侶 水色也。 渰 有弇興南岑】。燮燮涼葉奪 楚、 奪、 善作弇。 未詳。 (欄眉) 礎、 延、 苔、 談、 叢木也】。歳暮百慮交、 落也。 綠泉涌陰渚 乙楚、 淮南子曰、 善日、 五臣作苕、草梢也。蕤、 有渰、 五臣作譚。索居、 山雲潤柱礎【鸛、 佇、 戻 張景陽雜詩曰、 兩師也。 直呂(反)、 力結反、 【丹霞、 (欄眉) 山雲蒸而柱礎潤】。 赤雲也。 急也。颸、 貫、逹也。 鄭玄毛詩箋曰、 散居也。 **戾戾颸**風舉【燮、 古翫 待也】。 無以慰延佇【慮、 丹霞啓陰期。 反)。 耳維反、 蔽、 慕、 楚誕反]。 高談玩四 (欄下) 障也。 有渰興春節 思也】。青苔日夜墨 鸛水鳥將陰雨而鳴 蘖也。芳蕤 善日、 乙曽、 四條反。 又曰、 思也。 高也。 日也。 愁霖貫秋 階下伏衆 交、 草木 綠 謂

附記 ある。 する文選資料群に関する総合的研究」による研究成果の 本稿は、 JSPS科研費16K025886「日本に現存の旧鈔本を中心と — 部